

# はじめに

## I 京都府スポーツ推進計画改定に当たって

### 1 スポーツの意義と価値 ～京都府民みんなが持ちたい「スポーツごころ」～

2011（平成 23）年に制定されたスポーツ基本法においては、スポーツは、世界共通の人類の文化であり、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであるとともに、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされています。

また、スポーツは、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、我が国の国際的地位の向上など、国民生活において多面にわたる役割を果たすものです。

このようなスポーツ基本法に掲げられた「スポーツの価値」を実現するため、文部科学省では、2017（平成 29）年 3 月、第 2 期「スポーツ基本計画」を策定し、2017（平成 29）年度から 2021 年度までの中長期的なスポーツ政策の基本方針として、

- (1) スポーツで「人生」が変わる！
- (2) スポーツで「社会」を変える！
- (3) スポーツで「世界」とつながる！
- (4) スポーツで「未来」を創る！

を掲げ、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツ界が他分野と連携・協働を進め、「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしています。

京都府では、2014（平成 26）年 3 月策定の「京都府スポーツ推進計画」において、「感動」「楽しみ」「向上」「健康」「挑戦」「つながり」「公正」といった、人々が日々の生活の中で「よしっ！」「さあ！」「やってみよう！」という前向きで積極的な心のありようを「スポーツごころ」とし、本計画を「芽吹かせ」「広め」「深め」「高める」ためのテーマとし、取り組んできました。

府民の「QOL（生活の質）」の向上に大きな役割を果たすスポーツの意義や価値を考慮し、これからも引き続き「スポーツごころ」をテーマとしたスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進することが必要です。

#### 「スポーツごころ」

- 感 動 : 強く心を動かされたい。また、動かしたい。
- 楽 し み : 興味を持って、楽しくありたい。
- 向 上 : さらなる進化を求めたい。
- 健 康 : 心も身体も健やかでありたい。
- 挑 戦 : 未知の世界へ立ち向かいたい。
- つ なが り : 人との結びつきを大切にしたい。
- 公 正 : 思いに偏りなく、正しくありたい。

## 2 計画改定の趣旨

京都府では、2014（平成 26）年に今後 10 年間を見通した本府のスポーツ推進に関する基本計画として、「京都府スポーツ推進計画」を策定し、スマートスポーツ（生涯スポーツ分野）、エンジョイスポーツ（子どもスポーツ分野）、チャレンジスポーツ（競技スポーツ分野）、「夢・未来」スポーツ拠点の整備（施設充実分野）の 4 分野をスポーツ推進の柱と位置付け、その推進計画に基づき施策を展開してきました。

本計画策定後、2015（平成 27）年には、スポーツ行政を総合的に推進するスポーツ庁が創設されたのはじめ、2017（平成 29）年には、「第 2 期スポーツ基本計画」が策定され、スポーツ立国を目指す上での新たな指針が示されました。また、ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」という。）、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西（以下、「ワールドマスターズゲームズ」という。）と、3 年連続で国内での大規模な国際スポーツ大会が開催されるなど、スポーツに関する環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、京都府では、本計画が示す「京都府スポーツ推進計画」の基本的な趣旨を継承し、各目標の達成に向けて積極的に取り組んでいくことを基本としつつ、これまでの成果や課題を明らかにした上で、今後 5 年間で必要な施策について新たに計画に盛り込むべきと考え、改定することとしました。

## 3 計画の位置付け

文部科学省はスポーツ基本法（2011（平成 23）年 6 月制定）に基づき、平成 24 年に我が国のスポーツの推進に関する基本的な計画である「スポーツ基本計画」、2017（平成 29）年に「第 2 期スポーツ基本計画」を策定しました。

スポーツ基本法には、この計画を参酌して、都道府県でそれぞれの地域の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものと規定されています。（スポーツ基本法第 10 条）

京都府においては、2014（平成 26）年 3 月に「京都府スポーツ推進計画」を策定し、スポーツの推進に努めてきましたが、これをさらに発展させるため、京都府スポーツ推進審議会をはじめ、関係部局、府民の皆様などから幅広く御意見をいただき、改定を進めました。

## 4 計画の期間

2014（平成 26）年度から 2023 年度までの 10 年間です。

## Ⅱ 計画策定以降のスポーツを取り巻く環境の変化

### 1 スポーツ庁の創設

東京 2020 大会開催決定を機に、国民のスポーツへの関心が高まりを見せる中、スポーツ施策を総合的に推進するため、2015（平成 27）年 10 月 1 日、文部科学省の外局としてスポーツ庁が発足しました。

スポーツ庁は、スポーツ基本法の趣旨を踏まえ、スポーツを通じて「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む」ことができる社会の実現を目指しています。現在、長官等の下に「政策課」「健康スポーツ課」「競技スポーツ課」「国際課」「オリンピック・パラリンピック課」の 5 つの課が設置され、すべての国民のスポーツ機会の確保、健康長寿社会の実現、スポーツを通じた地域や経済の活性化、東京 2020 大会の成功に向けた取組等、それぞれの目的に応じた施策が進められています。

### 2 第 2 期スポーツ基本計画の策定

文部科学省では、スポーツ基本法の規定に基づき、2017（平成 29）年 3 月、第 2 期スポーツ基本計画（2017（平成 29）年度から 2021 年度までの 5 年計画）を策定しました。

スポーツ基本計画は、スポーツ基本法の理念を具体化し、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針です。

第 2 期スポーツ基本計画では、スポーツの主役は国民と国民に直接スポーツ機会を提供するスポーツ団体等であるとし、国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体、国等が一体となって施策を推進していくことが必要だとしています。

2020 年の先を含む 5 年間のスポーツ政策として、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携・協働により、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創るという「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことを基本方針としています。

### 3 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定

スポーツ庁では、教員の働き方改革と生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するという観点から、地域や学校の実態に応じて、運動部活動が多様な形で最適に実施されるよう、2018（平成 30）年 3 月、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを策定しました。

中学校及び高等学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校並びに特別支援学校中学部及び高等部を含む。）における運動部活動が、生徒がスポーツに親しむ基盤として、今後も持続可能なものとなるよう、本ガイドラインに則り、速やかに改革に取り組むことが必要です。

## Ⅲ 計画策定以降の本府の運動スポーツに関する現状と課題

### 1 成人のスポーツ実施率

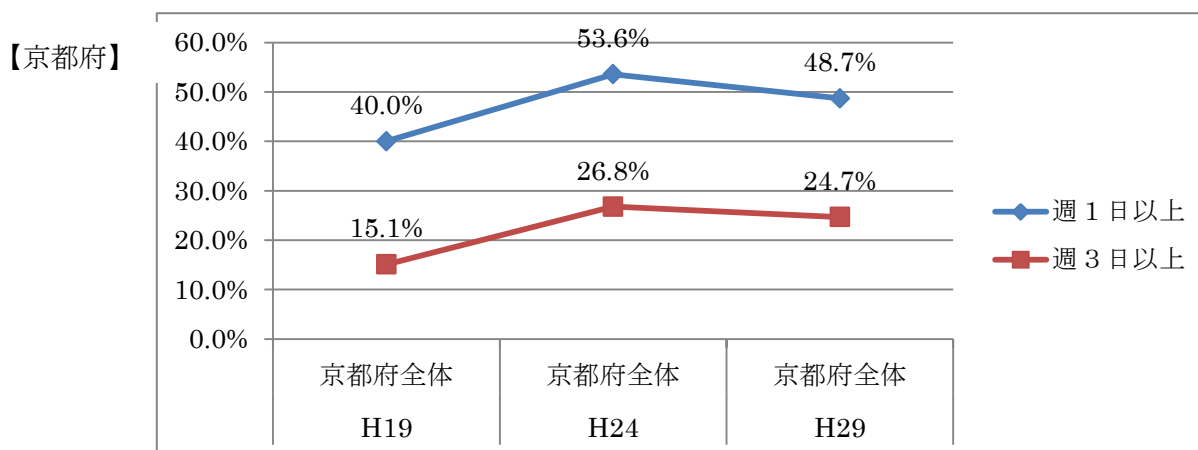
○週 1 日以上運動・スポーツをする成人の割合は、H29：48.7%（H24：53.6%）、週 3 日以上では、H29：24.7%（H24：26.8%）であり、前回調査や国の実施率を下回る結果となっています。また、国や本府の目標である週 1 日以上運動・スポーツをする成人の割合、約 65%（週 3 日以上：約 30%）には届いていません。

○運動・スポーツを行った理由としては、「健康・体力づくり」、「運動不足を感じる」、「楽しみ・気晴

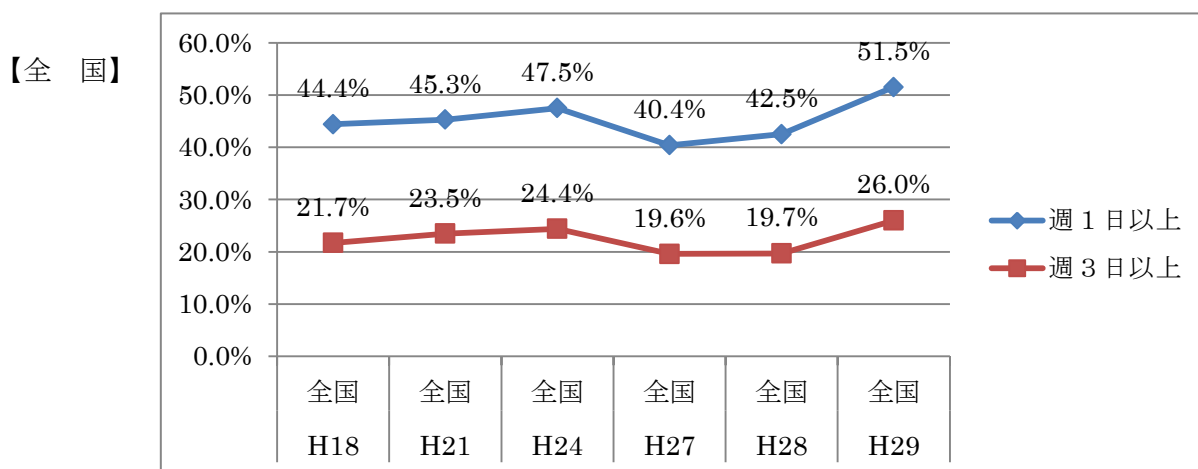
らし」など様々です。

○運動・スポーツをしなかった理由としては、「年をとったから」、「仕事（家事・育児・介護等含む）が忙しい」、「機会がない」、「面倒だから」と続いています。特に70歳以上では、「年をとったから」、30歳代以下と40～50歳代では「仕事が忙しい」「機会がない」が多く、「仕事が忙しい」「面倒だから」をあげる人は若い年代ほど多くなっています。

### 成人のスポーツ実施率の推移



＜出典＞「平成29年度京都府民のスポーツに関する実態調査」（京都府教育委員会）



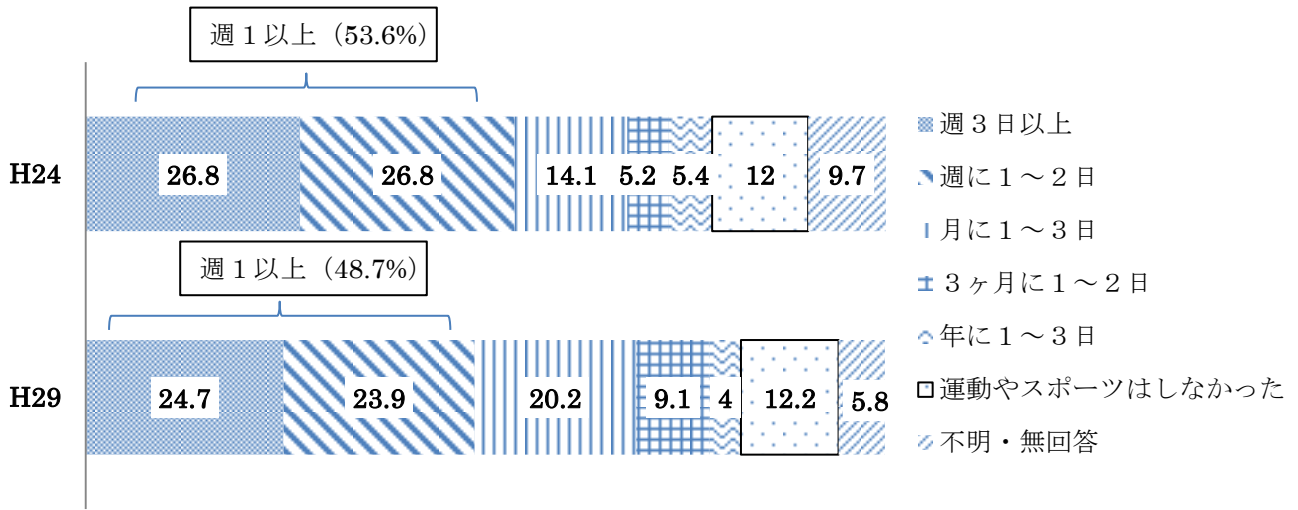
＜出典＞「平成29年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」（スポーツ庁）

○成人のスポーツ実施率の推移において、週1日以上できていない層を平成24年度と平成29年度で比較分析すると、運動やスポーツをしなかった割合はほぼ同じであり、前回調査に比べ、「週1日以上」「週3日以上」の運動実施率が低下している要因として、運動・スポーツを実施している層の実施頻度が全体的に低下したことが影響したものと考えられます。

○性別にみると、本府では「週1日以上」「週3日以上」ともに男性よりも女性の方が運動・スポーツをする割合は高くなっています。また、この1年間に「運動やスポーツをしなかった」割合は男性11.9%、女性12.8%とほぼ男女差に違いはみられません。

## 成人の運動やスポーツを行った日数

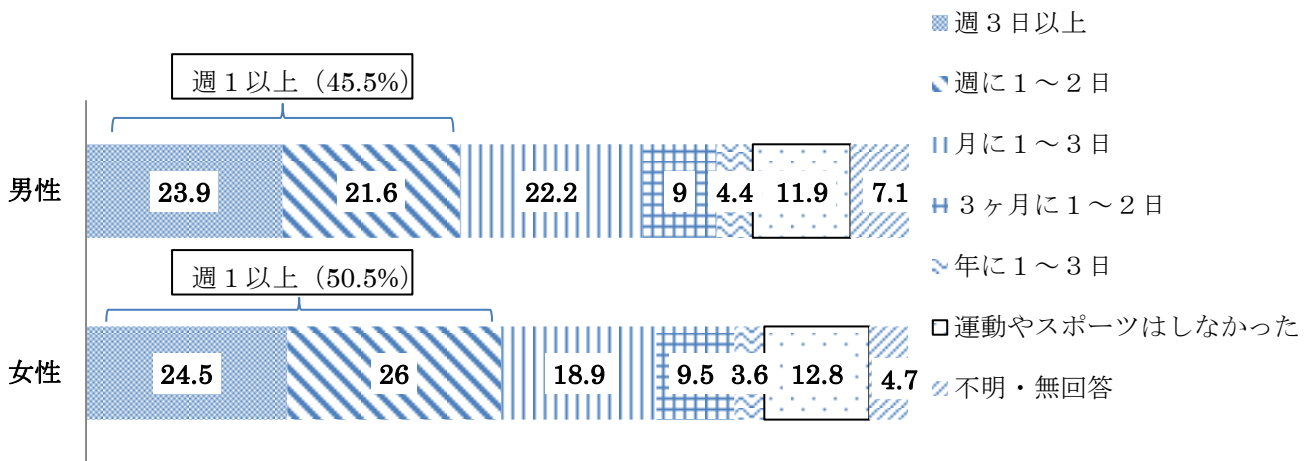
【H24・H29対比表】



<出典> 「平成24年度京都府民のスポーツに関する調査」(京都府教育委員会)

<出典> 「平成29年度京都府民のスポーツに関する実態調査」(京都府教育委員会)

【H29：男女対比表】



<出典> 「平成29年度京都府民のスポーツに関する実態調査」(京都府教育委員会)

## 2 総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）育成状況

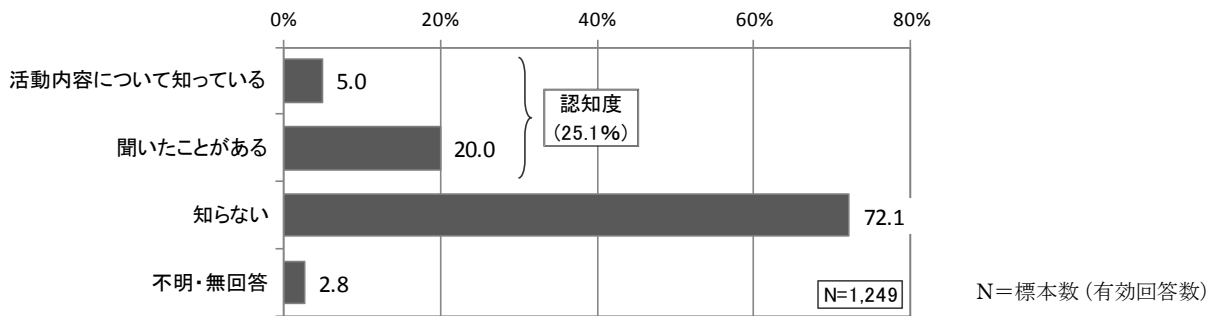
○本府では、現在、59クラブ（2018（平成30）年6月現在）が活動しています。

○未設置市町村は、宇治田原町、笠置町、精華町、伊根町の4町で、本府の育成状況（創設クラブがある市町村数÷全市町村数）は、84.6%（全国：80.9%）（2017（平成29）年7月現在）です。

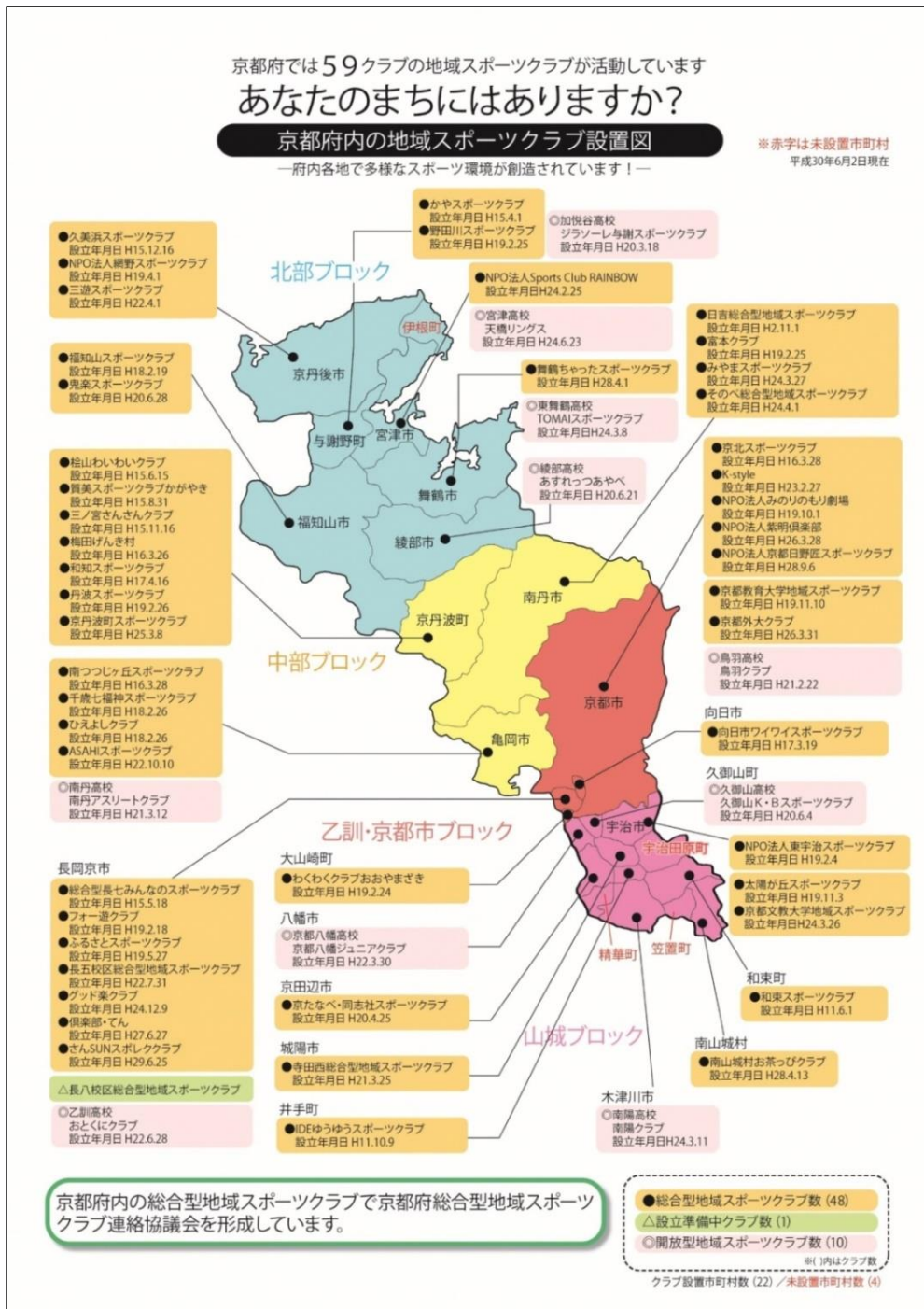
○総合型クラブの認知状況は、「知らない」が72.1%と、現在もなお認知が進んでいない状況があります。



「総合型クラブ」の認知状況



< 出典 > 「平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査」(京都府教育委員会)



### 3 子どもの体力

○「体力合計点」で男女ともに全国平均値を下回っていますが、「20m シャトルラン」「50m走」「ボール投げ」において、概ね全国平均値を上回る結果となっています。

#### 【小学校・男子】

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	
全国	16.51	19.92	33.16	41.95	52.23	9.37	151.73	22.52	54.16
京都府	16.08	19.71	32.84	39.46	52.85	9.20	149.84	22.73	53.52

#### 【小学校・女子】

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	
全国	16.12	18.80	37.44	40.06	41.62	9.60	145.49	13.93	55.72
京都府	15.55	18.27	36.54	37.36	41.25	9.50	142.31	13.98	54.31

#### 【中学校・男子】

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	
全国	28.88	27.33	43.10	51.84	85.54	8.00	194.55	20.51	41.96
京都府	27.93	27.09	41.94	51.01	88.76	7.88	191.83	20.52	41.71

#### 【中学校・女子】

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	
全国	23.78	23.62	45.85	46.75	58.79	8.81	168.40	12.88	49.80
京都府	23.15	23.20	44.18	45.94	61.35	8.74	166.13	12.88	49.24

<出典> 「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」(文部科学省・スポーツ庁)

#### 4 運動・スポーツ好きな子どもの推移

○各年齢とも女子より男子の方が運動・スポーツをすることが好きな子どもの割合は高くなっています。

○男女とも運動・スポーツをすることが好きな子どもの割合は、中学校入学後、低下しています。

○1週間の総運動時間（学校の体育の授業以外）において、中学校女子の14.5%が0分と回答しており、小学校男子3.1%、小学校女子4.8%、中学校男子4.2%に比べ約10ポイント高くなっています。

##### 【小学校・男子】

	運動やスポーツが好き				1週間の総運動時間			
	好き	やや好き	ややきらい	きらい	0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上
全 国	73.3%	20.0%	4.5%	2.1%	2.9%	3.5%	37.3%	56.4%
京都府	72.5%	20.3%	4.8%	2.4%	3.1%	3.5%	39.8%	53.6%

##### 【小学校・女子】

	運動やスポーツが好き				1週間の総運動時間			
	好き	やや好き	ややきらい	きらい	0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上
全 国	56.5%	30.9%	9.1%	3.6%	4.1%	7.5%	55.5%	32.9%
京都府	53.6%	31.8%	10.5%	4.1%	4.8%	8.3%	57.6%	29.3%

##### 【中学校・男子】

	運動やスポーツが好き				1週間の総運動時間			
	好き	やや好き	ややきらい	きらい	0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上
全 国	62.9%	25.8%	7.3%	4.0%	4.9%	1.6%	8.7%	84.8%
京都府	64.0%	25.5%	7.2%	3.4%	4.2%	1.1%	5.7%	89.1%

##### 【中学校・女子】

	運動やスポーツが好き				1週間の総運動時間			
	好き	やや好き	ややきらい	きらい	0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上
全 国	47.0%	31.5%	14.2%	7.3%	13.6%	5.8%	19.0%	61.6%
京都府	45.0%	31.1%	16.2%	7.8%	14.5%	4.6%	16.4%	64.5%

<出典> 「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」（文部科学省・スポーツ庁）



## 5 子どものスポーツ実施率

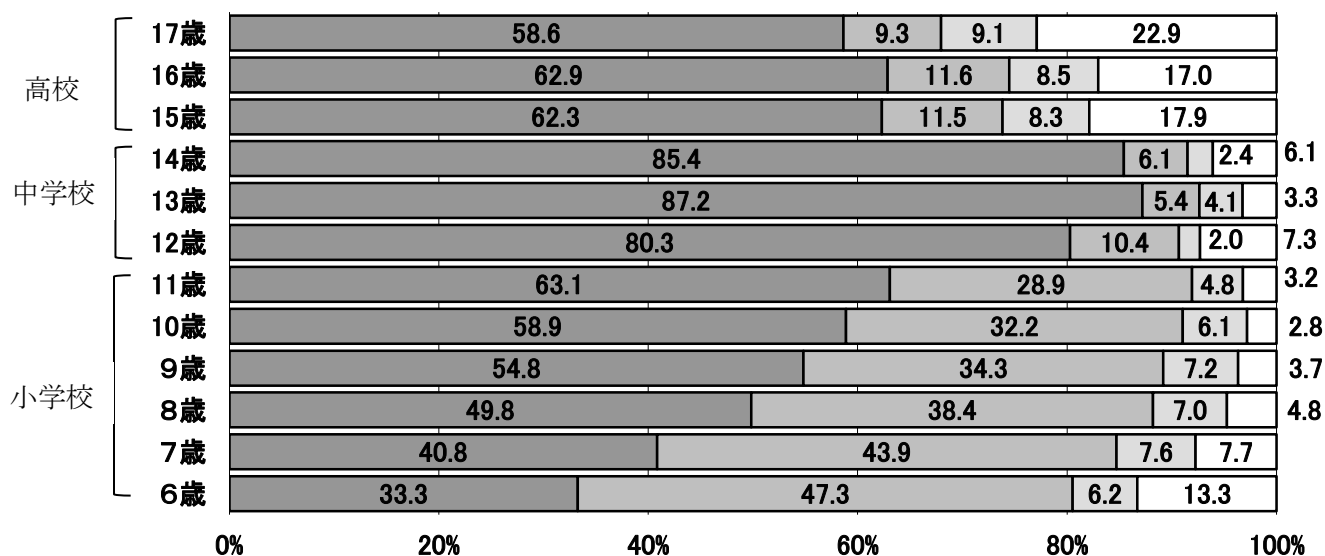
○学校の体育の授業以外で週1日以上運動・スポーツをしている子どもの割合は、各年齢とも女子より男子の方が高くなっています。

○小・中学校の時期は年齢が上がるにつれ実施頻度が概ね上昇しますが、高校入学後は低下傾向がみられます。

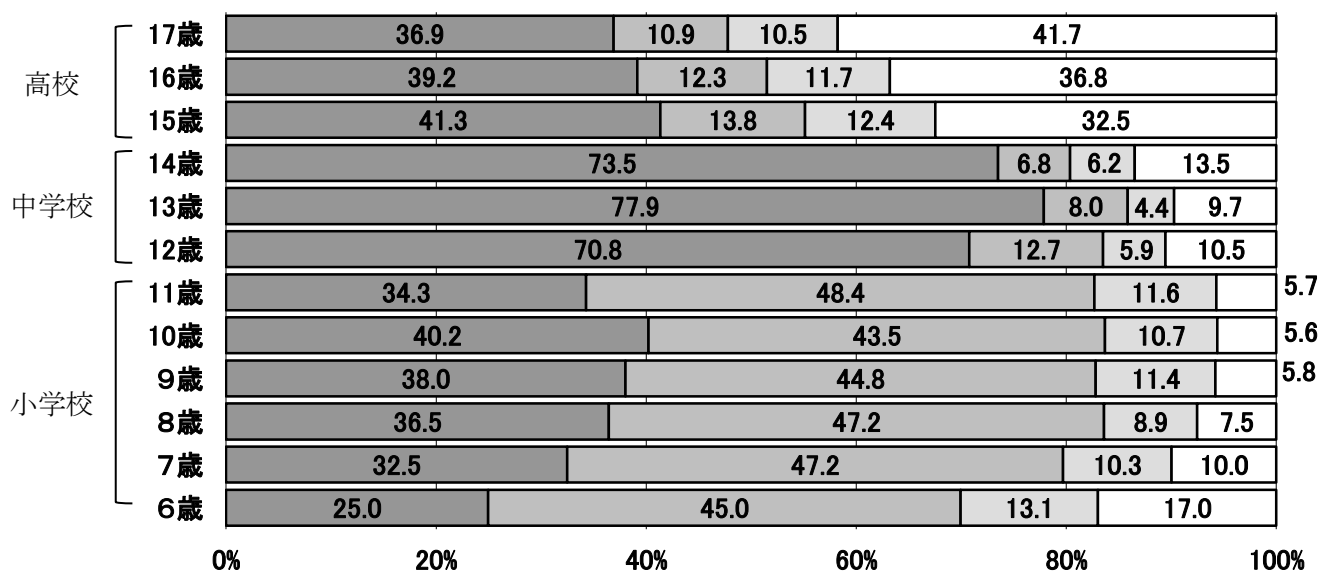
○高校入学を機にスポーツ実施率は低下しますが、これは運動部活動加入率（中学校 68.0%、高校 44.4%）が大きく影響していると予想されます。

ほとんど毎日(週に3日以上実施)
  ときどき(週に1~2日くらい実施)
  ときたま(月に1~3日くらい実施)
  しない

### 男子

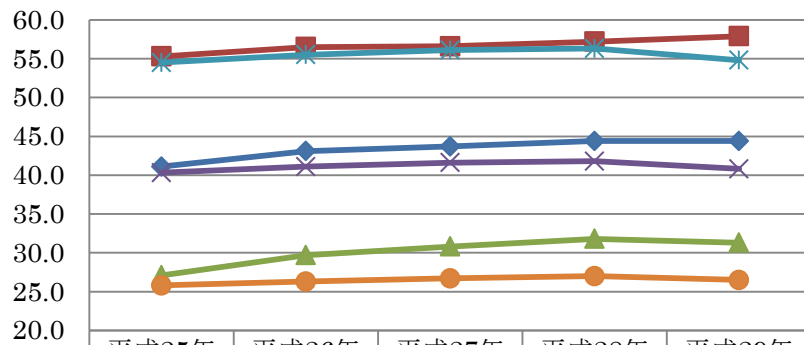


### 女子



<出典> 「平成29年度京都府児童生徒の健康と体力の現状」(京都府教育委員会)

## % 高等学校運動部活動加入率

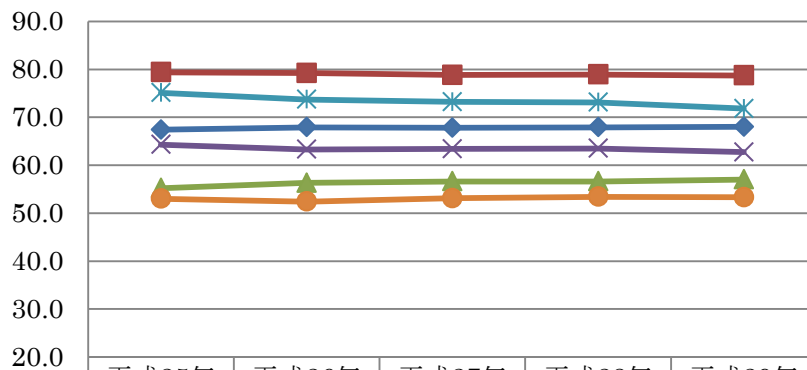


	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
◆ 全体 (府)	41.1	43.1	43.7	44.4	44.4
■ 男子 (府)	55.3	56.5	56.6	57.2	57.9
▲ 女子 (府)	27.1	29.7	30.8	31.8	31.3
✕ 全体 (全国)	40.3	41.1	41.6	41.8	40.8
✧ 男子 (全国)	54.5	55.5	56.1	56.3	54.8
● 女子 (全国)	25.8	26.3	26.7	27.0	26.5

< 出典：「運動部活動実態調査」京都府高等学校体育連盟 >

< 出典：「全国高体連加盟状況」(公財) 全国高等学校体育連盟 >

## % 中学校運動部活動加入率



	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
◆ 全体 (府)	67.4	67.9	67.8	67.9	68.0
■ 男子 (府)	79.4	79.2	78.8	78.9	78.7
▲ 女子 (府)	55.2	56.3	56.6	56.6	57.0
✕ 全体 (全国)	64.3	63.3	63.4	63.5	62.7
✧ 男子 (全国)	75.1	73.7	73.2	73.1	71.8
● 女子 (全国)	53.0	52.4	53.1	53.4	53.3

< 出典：「運動部活動状況調査」京都府中学校体育連盟 >

< 出典：「加盟校調査」(公財) 全国中学校体育連盟 >

## 6 京都ゆかりの選手の国際大会・国民体育大会成績

○リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会及び平昌オリンピック・パラリンピック競技大会では、計 29 名の選手が参加し、計 4 個のメダルを獲得しています。

○国民体育大会において、目標とする男女総合成績入賞（8 位以内）には、本計画策定以降一度も届いていません。

### ◆リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会出場数及びメダル獲得

- ・リオデジャネイロオリンピック：14 競技 22 名出場、メダル数 3（銀 1、銅 2）
- ・リオデジャネイロパラリンピック：4 競技 6 名出場、メダル数 1（銅 1）
- ・平昌オリンピック：1 競技 1 名出場
- ・平昌パラリンピック：出場者なし

### ◆国民体育大会成績

- ・平成 26 年度：12 位、平成 27 年度：10 位、平成 28 年度：12 位、平成 29 年度：11 位

## 7 公認スポーツ指導者取得者数の推移

○公認スポーツ指導者数は、ここ数年（H27：116 名増、H28：53 名増、H29：72 名増 計 241 増）、総数としては着実に増加しています。

京都府内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数の推移

	競技別指導者資格						フィットネス資格			メディカル・コンディショニング資格				マネジメント資格		合計
	指導員	上級指導員	コーチ	上級コーチ	教師	上級教師	スポーツプログラマー	フィットネストレーナー	ジュニアスポーツ指導員	アスレティックトレーナー	スポーツドクター	スポーツデンティスト	スポーツ栄養士	アシスタントマネジャー	クラブマネジャー	
平成26年度	1,949	276	326	122	62	21	92	15	131	47	156		1	169	4	3,371
平成27年度	2,029	270	345	115	62	19	95	16	136	59	159	2	3	173	4	3,487
平成28年度	2,060	261	357	123	61	22	97	15	128	74	159	3	3	172	5	3,540
平成29年度	2,140	256	358	134	60	22	88	14	119	78	161	6	5	166	5	3,612

## 8 京都府のスポーツ施設整備状況の変化

### ◆完成

- 「京都トレーニングセンター」
- 京都府立丹波自然運動公園  
テニスコート等夜間照明、陸上競技場第 2 種化整備
- 京都府立山城総合運動公園  
弓道場、陸上競技場夜間照明及びスタンド屋根、テニスコート屋根、クラブハウス

### ◆整備中

- 専用球技場「京都スタジアム」（仮称）
- 通年型アイススケートリンク「京都アイスアリーナ」（仮称）
- 京都府立丹波自然運動公園  
クロスカントリーコース、車いす駅伝専用練習コース

## 9 東京 2020 大会の主な取組状況

○ホストタウン誘致状況（2018（平成 30）年 5 月現在）

登録団体名	相手国・地域	競技名	事前合宿	登 録
舞鶴市	ウズベキスタン	レスリング・柔道	有	2016（平成 28）年 6 月
亀岡市	オーストリア	空手道	有	2016（平成 28）年 12 月
京丹後市	韓国、オーストラリア	カヌー		2016（平成 28）年 1 月
大山崎町	スイス	フェンシング		2016（平成 28）年 6 月
京丹波町	ニュージーランド	ホッケー		2016（平成 28）年 12 月

○ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点施設指定状況

（2018（平成 30）年 5 月現在）

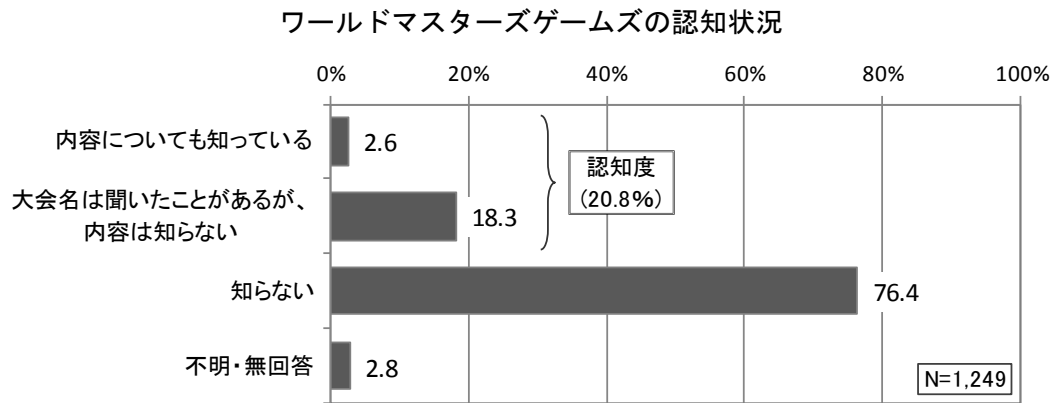
競技名	施設名	設置者	認 定
パラ・パワーリフティング	京都府立心身障害者福祉センター体育館 「サン・アビリティーズ城陽」	京都府	2016（平成 28）年 7 月
車いすフェンシング	元京都市立山王小学校	京都市	2017（平成 29）年 2 月

## 10 ワールドマスターズゲームズの主な取組状況

○公式競技等誘致状況（2018（平成 30）年 5 月現在）

市町村名	競技名（種目名）等
京都市	開会式
	空手道
	スカッシュ
	バドミントン
	陸上競技（トラック&フィールド）
	ペタンク <b>※オープン競技</b>
福知山市	ソフトテニス
京田辺市	ハンドボール
京丹後市	カヌー（マラソン）
南丹市	トライアスロン（デュアスロン）
和束町	自転車（マウンテンバイク）
京丹波町	ゲートボール

○ワールドマスターズゲームズの認知状況は、「知らない」が76.4%と、現在もなお認知が進んでいない状況があります。



N=標本数 (有効回答数)

<出典> 「平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査報告書」(京都府教育委員会)